# テコンドーくまもと Vol.27

# TAEKWONDO KUMAMOTO

2008/7~2009/2

発行 熊本県テコンドー協会/熊本市南坪井町4-23 MTビル1F TEL&FAX096-206-1772

阿蘇市阿蘇体育館

## 韓国・中国・オーストラリアから火の国・阿蘇へ！

### 国際親善・第2回熊本オープン選手権大会

■2008・10/12 ■阿蘇市阿蘇体育館
■主催 熊本県テコンドー協会
■協力 韓国大田広域市テコンドー協会・韓国忠清大学
■後援 (社)全日本テコンドー協会・熊本県・阿蘇市・熊本県体育協会他13団体

今年で第2回となる県協会主催、熊本オープンテコンドー選手権大会は、昨年と同じく阿蘇市阿蘇体育館に、東京・静岡・大阪・九州など全国からの選手122名に加え、韓国・中国・オーストラリアからの選手41名、県選手66名の総勢229名の選手が参加し、1ヶ国の国際親善大会として盛大に開催された。

開会式では、北京五輪に出場した岡本依子選手もゲストとして参加するなど、大会を盛り上げた。開会式後の模範演武では、戸山流居合道師範、高橋和成先生の抜刀術や、韓国、忠清大学のテコンドー演武の迫力に、会場に詰め掛けた観客からは多くの拍手が送られた。

今回から、プムセ(型)競技も実施され、出場した選手は個人プムセ、団体プムセにと熱心に取り組んでいた。キョルギ(組み手)は、ジュニア(小学~中学)と一般(有段、有級)の各男女階級別で行われ、有段男子58kg級決勝では、地元、中山北斗選手と全日本フィン級の都者・内村剣悟選手の対戦となり内村選手が全日本順者の貫禄をみせ勝利する。また、女子有段の部では、地元の津田ひかる選手をはじめ、高橋亜子選手(東京)、笠原江梨香選手(静岡)、渡安美恵子選手(東京)など全日本トップクラスの選手が出場、レベルの高い試合が多くみられた。女子49kg級で優勝を飾られた津田選手だったが、決勝で笠原江梨香選手に惜しくも敗れ準優勝となる。今大会、県選手は、12階級で優勝を飾った他、31名が3位内に入賞する活躍となった。

国際交流の意味合いが強い今大会、外国選手との合同練習会や、大会終了後のパーティなどで選手同士間の親善交流にも大きく貢献した大会と言える。

オーストラリア選手団長への感謝状授与

中国選手団入場

### 開会式

オーストリア選手団入場

岡本選手への花束贈呈

内村・津田選手の選手宣誓

Kumamoto Open Taekwondo Championships

会場入口

戸山流居合道師範
高橋和成先生の抜刀術

韓国忠清大学の演武

プムセ(型)競技

ちびっこ選手もがんばりました！

国際親善
International friendships

### 表 彰

有段-58kg 1位 内村選手 2位 中山選手 Jrフィンフライ級 1位 坂田選手 2位 田中選手 3位西村選手

最優秀選手賞 内村 剣悟選手(強化本部)

大会講評 筑紫 汎三国際協会理事長

韓国選手団記念撮影

各国役員記念撮影

### 試合風景

外国選手の演戦

内村剣悟選手の上段蹴りが炸裂！

### 試合結果(県選手入賞者のみ)

| | |
|---|---|
| 一般有段男子-58kg級 | 1位 内村剣悟(強化本部) 2位 中山北斗(水前寺) |
| 一般有段男子-80kg超級 | 1位 牧野信一 (玉名) |
| 一般有級男子-58kg級 | 2位 望月一馬 (菊陽大) |
| 一般有級男子-68kg級 | 2位 高八重良太(熊本大) |
| 一般有級男子-68kg超級 | 1位 清家裕之 (熊本大) 3位 畠山章樹 (川尻) |
| ジュニア男子フィンフライ級 | 1位 坂田賢誠 (亀田) 2位 田中颯人(大矢野) 3位 西村 綾(阿蘇) |
| ジュニア男子ウェルター超級 | 1位 飯土井 (宇土) |
| 小学生男子1・2年軽量級 | 1位 志垣颯汰 (宇土) 2位 栗村直矢(不知火) 3位 巣 熙雅(託麻) |
| 小学生男子1・2年重量級 | 1位 森永修斗 (阿蘇) 2位 斉藤 翼 (宇土) 3位 中西宏将(宇土) 3位 住 大翔 (阿蘇) |
| 小学生男子3・4年軽量級 | 1位 松本和也 (阿蘇) 2位 山口晃輝 (宇土) 3位 山口祐輝(宇土) |
| 小学生男子3・4年中量級 | 1位 窪田慶紀 (八代) 3位 徳永雅樹 (託麻) |
| 小学生男子3・4年重量級 | 1位 中西一司 (宇土) 2位 斉藤正宗 (宇土) |
| 小学生男子5・6年軽量級 | 2位 川越翼斗 (川尻) 3位 田浦広意(不知火) 3位 篠辺耕也(御船) |
| 小学生男子5・6年中量級 | 1位 坂本大陸 (富合) 2位 西田 亮(不知火) 3位 坂田優心(亀田) 3位 橋本裕大 (八代) |
| 小学生男子5・6年重量級 | 2位 徳永大樹 (託麻) |
| 一般有段女子-49kg級 | 2位 渡田ひかる (阿蘇) |
| 一般有段女子-57kg級 | 2位 本田千尋 (阿蘇) |
| 一般有級女子-68kg級 | 1位 江藤美紗 (東陽大) |
| ジュニア女子フィンフライ級 | 3位 中西美希 (宇土) |
| ジュニア女子ライトウェルター級 | 3位 伊住真冬 (富合) 3位 本田浪夏 (阿蘇) |
| 小学生1・2年女子合同級 | 2位 山本悠菜 (阿蘇) 3位 米田 優 (阿蘇) |
| 小学生3・4年女子合同級 | 2位 田川一春 (八代) 3位 桐谷玲奈 (八代) |
| 小学生5・6年女子合同級 | 1位 西村真利愛 (阿蘇) 2位 本田琴子 (阿蘇) |
| プムセ個人小学生有級の部 | 3位 山本颯生 (八代) |

## ご結婚おめでとう！「土橋 陽一支部長、潮崎 史裕選手」

土橋陽一本山支部長と川尻支部の潮崎史裕選手がそれぞれ、9月14日、23日にめでたく結婚式を迎えた。県協会関係者も出席し、テコンドー演武を披露。また、土橋、潮崎の両新郎も試し割りを披露し、会場から大きな拍手と歓声があがった。末永くお幸せに…。

## 合同キャンプに53名・支部親睦を図る！

■2008・8/23～24 ■美里町家族村キャンプ場

県協会主催の合同合宿がこの程、美里町の家族村キャンプ場で2日間に亘って、県内各支部から53名が参加して行われた。樋口清輝選手、内村朝吾選手が中心となり技術指導を行うなど、参加した**ジュニア選手や大学生は、日本トップ**選手らの指導を熱心に聞き入っていた。また、キャンプ村では、金村康正選手強化委員が中心となりバーベキュー**や宝探し、スイカ割りなどで支部間**の交流を図った。

## 熊本オープン外国選手団ウェルカムパーティ盛大に！

■2008・10/11 ■阿蘇いこいの村

第28回熊本オープン大会の開催にあたり、峰岡・中田、オーストラリアの選手団を迎えての歓迎会が、大会前日、阿蘇いこいの村に約100名が出席して行われた。大会会長、樋口俊夫県協会会長の主催者挨拶に続き、佐藤義興阿蘇市長、佐藤雅司県議会議員の歓迎の挨拶があり、各国選手団の紹介、空手道の模範演武などが行われた。また、北京五輪に出場した岡本依子選手も特別ゲストとして参加し、和やかな雰囲気の歓迎会となった。

## テコンドーの魅力を！

樋口清輝選手が中心となり、テコンドーの魅力を伝えるテコンドーデモンストレーションを、8月から11月にかけて熊本市内のショッピングモールや上通りなどでイベント開催された。基本、キョッパ(板割り)、テコンドーピクスなどを披露し、買い物客も共に可愛らしいテコンドーの追力とスピードに驚きを示せていた。また、年明けの1月2日、光の森で開催された新春スポーツイベントでは、北京五輪・柔道金メダリストの内坂栄太選手、エアロビックの大村誠一選手などと共に樋口選手も参加してイベントを盛り上げた。テコンドー演武やエアロビックも披露され、イベント会場には多くの人だかりが見ていた。

## 北京五輪出場・岡本 依子選手セミナー開催！

■2009・1/20 ■熊本武道館

北京五輪に出場した岡本選手が、この度、来熊し、熊本武道館で北京五輪出場のことや、テコンドーで大切なことなど約1時間に亘ってジュニア選手中心に話しをした。参加したジュニア選手は、更に練習を積んで岡本選手や樋口選手のようにオリンピックに出場できる様これからも頑張りたいと語っていた。

## 市内中心部に碩台支部開設！大津支部・上熊本支部は再開！

■2008・7/7 ■碩台地域コミュニティセンター

県協会では、熊本市中心部のテコンドー道場の開設を検討していたが、この程、4月に移転した本部事務所近くの子飼商店街にあるコミセンで碩台支部を新規開設した。指導は樋口会長があたり、開設日には4名の子供さんが入会、さっそく初練習を行った。練習は毎週月曜の18時半から1時間、ジュニアのみとなっている。また、活動を停止していた大津支部、上熊本支部も支部再開となり大津支部は西村紀幸師範が支部長に、また、上熊本支部は福永哲法支部長が指導にあたることとなった。

## 訃報・ご冥福を祈る！

### 洞田貫 博文氏(元県協会理事)・坂本 繁幸氏(元県協会指導者)

去る8月29日、元県協会理事の洞田貫博文氏の葬儀が阿蘇市の自宅でしめやかに行われた。洞田貫氏は、県協会創成期からの指導者で過去の全日本大会には3回出場、阿蘇、菊川、大津などで支部長を歴任後、数年前からは、仕事の関係で名古屋に勤務していた。享年42歳とまだまだこれからの人生だったがテコンドーへの思いは人一倍であった故人、葬儀には県協会関係者も多く参列し、故人の冥福を祈った。また、11月18日、県協会の前身であった「茶式会」の指導者で、1990年九州最初のテコンドー大会「第1回全九州大会」に重量級で出場し3位入賞を果たすなど、熊本テコンドーの創成期を支えた一人、坂本繁幸氏も2年半に及ぶ病気との戦いには勝てず49歳の若さでこの世を去った。第2回熊本オープンには、病床の身ながら大会を観戦、それが最後の姿となった。一昨年、田島慎一副会長の逝去に続く今回の訃報、どくなった故人のテコンドーへの思いを残された者は使命と責任をもって日々県内テコンドー普及のために邁進していくことが故人への供養となるに違いない。お二人のご冥福を祈る。

## 西村 純選手(阿蘇支部)ヤングJrライトウェルター級で金メダル！
## 樋口 清輝選手・ライト級、松本 宇生選手・フェザー級で共に銅メダル獲得

### 第10回コリアクラシックオープン2008

■2008・7/1～5 ■韓国・清州市体育館

第10回世界テコンドーフェスティバルコリアクラシックオープン2008は、7月1日から7月5日迄の5日間、韓国忠清北道、清州市市体育館で世界40ヶ国から約1000名の選手が参加し、盛大に開催された。県協会からは、樋口清輝選手など6名の選手が出場、ヤングジュニアライトウェルター級で西村純選手が金メダルを獲得した他、樋口清輝選手が、階級を上げたライト級で出場、準決勝でニュージーランドの選手に敗れ、惜しくも銅メダル、また、松本宇生選手も軽量J.国際大会初出場で銅メダルを獲得する活躍となった。フィン級の熊本純選手、バンタム級の渡辺健太選手、フェザー級の中山北斗選手は健闘するも入賞はできなかったが、今後に向けての素晴らしい経験が出来た大会だったと言える。

◆試合結果
ヤングJr級（-51kg以下）
ライトウェルター級 西村 純（阿蘇支部）
ライト級 樋口 清輝（阿蘇支部）
フィン級 熊本 純（熊本）
バンタム級 渡辺 健太（熊本）
フェザー級 中山 北斗（熊本）
ライトウェルター級 松本 宇生（阿蘇支部）

## 樋口 清輝・津田 ひかる選手は準V
## 中山 北斗選手は健闘3位入賞！

### 第2回全日本選手権大会

■2009・2/8 ■東京駒沢オリンピック記念公園体育館

今年の全日本選手権大会は、年明けて間もない2月8日、全国からの選手138名が出場して開催された。県協会からは、樋口清輝選手、津田ひかる選手の全日本チャンピオンを含む6名が出場した。通算7度、フェザー級2連覇を目指した樋口清輝選手は1回戦終了までふかに左足を痛めため、何とか準決勝を勝ち進み、決勝に駒を進めた。決勝は、神奈川の剛腕選手との対戦、左足のダメージが大きく思うように攻める事が出来ない状態でラウンドストンの同点に持ちこむも、試合終了数秒前に警告を宣告されて減点負けとなり2連覇はならなかった。また、樋口選手と同じく2連覇が期待された女子フィン級出場の津田ひかる選手だったが、決勝で前廠ライバルである東京の高橋素子選手と対戦、3ラウンドで同点、サドンデス(延長先取りポイント制)で高橋選手のネリュチャギ(かかと落とし)がポイントとなり、惜しくも準優勝となった。健闘をみせたのは、中山北斗選手、今年の全九州でも準優勝し、高校生ながら成長著しい中山選手、初戦、20回転と厳しい試合を勝ち進み決勝へ。しかし、神奈川の二枚選手に敗退するも惜しくも敗退。しかしながら、全日本初出場での3位入賞は本人にとっては大きな自信に繋がる結果と言えよう。フライ級の渡辺健二選手、フェザー級の松本宇生選手、女子フェザー級の本田千尋選手は全日本の壁は厚く上位入賞は出来なかった。

◆試合結果
男子フィン級 3位 渡辺健二（学館大）
フライ級 3位 中山北斗（水彩寺）
バンタム級 2位 高久重良大(熊本大)
フェザー級 1位 松本宇生（熊本大）
女子フェザー級 本田千尋 （後藤）

## 全員入賞！タイガーマスターズカップ

### 第7回タイガーマスターズカップ

■2009・1/11 ■佐賀県基山町総合体育館

日本テコンドー虎会が主催するタイガーマスターズカップは、今回、佐賀基山町総合体育館に韓国ジュニア選手も参加して開催された。県協会からは、昨年に続き阿蘇支部から5名の選手が出場し、全員入賞する活躍をみせた。

◆試合結果

| | | |
|---|---|---|
| 小学女子30kg～38kg | 1位 | 西村真利栄（阿蘇） |
| 小学女子30kg級 | 1位 | 本田 琴子（阿蘇） |
| 中学男子 中量級 | 1位 | 西村 純 （阿蘇） |
| 中学女子 会問級 | 1位 | 本田 涼夏（阿蘇） |
| 一般女子 会問級 | 3位 | 本田 千尋（阿蘇） |

## 全日本学生選手権大会

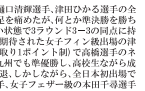
### 渡辺 雄二選手(学園大)嬉しい準優勝！

### 第2回全日本学生選手権大会

■2008・12/7 ■東京ナショナルトレーニングセンター

第2回全日本学生選手権大会は、東京ナショナルトレーニングセンターに全国からの大学生テコンドー選手が集結し、本年度の学生チャンピオンを目指して白熱した試合が展開された。県協会からは、7名の選手が出場、33名が出場した激戦区、男子フライ級で渡辺雄二選手（熊本学園大）が順調に勝ち進み、決勝に望んだが韓国選手と対戦、健闘するも惜しくも敗れ準優勝となった。今回、渡辺選手以外の選手は決定力が予選敗退となった。県選手の前年度大会に続く2大会連続入賞は大きな収穫といえる。

◆試合結果
男子フィン級 3位 渡辺雄二（学園大）
フライ級 3位 中山北斗（水彩寺）
バンタム級 2位 高久重良大(熊本大)
フェザー級 1位 松本宇生（熊本大）
女子フェザー級 本田千尋 （後藤）



## 新人戦・廣瀬 翔平選手、ジュニア選手権・川越 開斗選手にMVP!

### 第13回新人戦・第11回県ジュニア選手権大会■2008・12/7■熊本県民総合運動公園体育館

◆第13回熊新人戦試合結果

| 階級 | 1位 | 2位 | 3位 | 3位 |
|---|---|---|---|---|
| 一般男子 フィン級 | 福島 春馬（学園大） | 宮川 翔太（水彩寺） | 川端 政徳（熊本大） | |
| 一般男子 バンタム級 | 廣瀬 翔平（学園大） | 渡辺 雄二（熊本大） | 内村 朝吾（熊本大） | |
| 一般男子 バンタム級 | 廣瀬 翔平（学園大） | 坂井 孝治（熊本大） | 西村 純樹（八代） | 園田 顕（熊本大） |
| 一般男子 フェザー級 | 森永 健太（阿蘇大） | 池田 泰平（学園大） | 田上 雅樹（春大志水） | |
| 第1回一般女子自由級 | 佐々木 梨（学園大） | 川口 恵美（学園大） | 田上 雅樹（春大志水） | |
| 最優秀選手賞 | 廣瀬 翔平（学園大） | | | |

◆第11回県ジュニア選手権試合結果

| 階級 | 1位 | 2位 | 3位 | 3位 |
|---|---|---|---|---|
| 幼児の部(男子) | 田川 花道（八代） | 宮田 碧馬（学士） | 面部 幸春（学士） | |
| 幼児の部(女子) | 野田 愛子(川尻) | 宮田 碧馬（学士） | | |
| 小学1年生 男子の部 | 佐 大輝（阿蘇） | 永目 純也(不知火) | | |
| 小学2年生 男子軽量級の部 | 古閑 陽流（学士） | 堀村 直矢(不知火) | 永 雅彦（長嶺） | 田中 大輝（学士） |
| 小学2年生 男子重量級の部 | 古閑 陽流（学士） | 堀村 直矢(不知火) | 永 雅彦（長嶺） | 田中 大輝（学士） |
| 小学3・4年生 男子軽量級の部 | 澤田 海紀（八代） | 山本 陽生（八代） | 山田 真輝（学士） | 山口 琉輝（学士） |
| 小学3・4年生 男子重量級の部 | 山本 陽生（八代） | 山田 真輝（学士） | 山口 琉輝（学士） | |
| 小学5・6年生 男子軽量級の部 | 川越 開斗（川尻） | 田原 広史(不知火) | 吉田 泰彬（長嶺） | 迎野 凛也(不知火) |
| 小学5・6年生 男子重量級の部 | 川越 開斗（川尻） | 田原 広史(不知火) | 吉田 泰彬（長嶺） | 迎野 凛也(不知火) |
| 小学1・2年生 女子の部 | 永田 愛（阿蘇） | 山本 悠希（阿蘇） | 坂本 麗（八代） | 藤本 凛夏（八代） |
| 小学3・4年生 女子の部 | 永田 愛（阿蘇） | 山本 悠希（阿蘇） | 坂本 麗（八代） | 高田 絢（不知火） |
| 小学5・6年生 女子の部 | 坂井 美咲（学士） | 坂井 美咲（学士） | 堀之内 愛（学士） | 川越 有加（川尻） |
| 中学生 男子の部 | 西村 真利栄（阿蘇） | 坂本 将希（阿蘇） | | |
| 中学生 女子の部 | 西村 真利栄（阿蘇） | 徳田 琴鈴（電田） | | |
| 一般男子軽量級の部 | 中西 勇希（学士） | 伊藤 晃央（長嶺） | | |
| 一般男子重量級の部 | 佐木 雅斗（阿蘇） | 末田 一貴（阿蘇） | 伊住 祥秀（熊大） | |
| 一般女子ユース級の部 | 永目 純也（不知火） | 堀村 直矢（不知火） | 田原 広史(不知火) | |
| 一般人フェザー級の部 | 西村 真利栄（阿蘇） | 徳田 琴代(電) | 樋谷 裕奈（八代） | |
| 一般人フェザー級以上の部 | 八代選手 | 対抗選手 | 不知火選手 | |
| 最優秀選手賞 | 川越 開斗（川尻） | | | |

## 九州学生・崇城大Aチーム団体優勝！
## 個人4階級で頂点に

### 第6回全九州学生選手権大会

■2008・11/2 ■宮崎大学木花キャンパス体育館

九州学生チャンピオンを決定する第6回全九州学生選手権大会は、九州各県10大学から97名が出場して開催された。県協会からは崇城大、熊本大、熊本学園大から16名が出場し、個人ではフィン級で熊本純（崇城大）、バンタム級で高八重良大（熊本大）、ウェルター超級で満見裕之（熊本大）、女子フィン級で旭野祥子（崇城大）が優勝。13チームで競った男子団体戦では、崇城大Aチームが終い優勝を飾った。

◆試合結果(熊選手入賞者のみ)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 男子 | フィン級 | 1位 | 熊本 純 （崇城大） 3位 松本 健吾 （崇城大） |
| | バンタム級 | 1位 | 高八重 良大(熊本大) |
| | フェザー級 | 3位 | 澤田 航之(熊本大) |
| | ウェルター超級 | 1位 | 満見 裕之（熊本大） 2位 野口 嘉洋男(熊本大) |
| 団体戦 | | 2位 | 崇城大A |
| 女子 | フィン級 | 1位 | 星野 祥子 （崇城大） |
| | フライ級 | 2位 | 江藤 美沙 （崇城大） |
| | バンタム・フェーダー級合級 | 3位 | 甲 琴柱 （崇城大） |

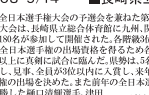
## 4名が全日本出場権を獲得！
## 松本 宇生選手・フェザー級惜しいV！

### 第2回西日本地区大会

■2008・9/14 ■長崎県立総合体育

第2回全日本選手権大会の予選会を兼ねた第2回西日本地区大会は、長崎県立総合体育館に九州、関西地区から約180名が参加して開催された。各階級3位までが第3回全日本選手権の出場資格を得るため各選手はいつも以上に熱気に満ちた試合が繰り広げられた。県勢は、3名の選手が出場し、見事、全員が3位以内に入賞し、来年の全日本選手権の出場を決めた。また前年の全日本選手権大会で優勝した樋口清輝選手、津田ひかる選手は、出場資格が免除されるために、県協会としては、7名の選手が全日本に望むことになり、協会発足以来の最多出場者数となった。

◆試合結果
男子フィン級 3位 渡辺雄二（学園大）
フライ級 3位 中山北斗（水彩寺）
バンタム級 2位 高八重良大(熊本大)
フェザー級 1位 松本宇生（熊本大）
女子フェザー級 本田千尋 （後藤）



## 九州大会・県勢7階級で優勝！
## 潮崎 史裕選手 通算6度のV！

### 第19回全九州選手権大会

■2008・8/31 ■宮崎県立武道館

今年の全九州選手権大会は、宮崎武道館に九州各県より21階級に189名が参加して盛大に開催された。熊本県からは、小学生から一般までの選抜された31名が出場し7階級で優勝、22名が3位以内の入賞を果たす好成績となった。一番の激戦区となった男子フライ級の決勝では、渡辺雄二（学園大）、中山北斗（水彩寺）の県勢同士の戦いとなり接戦の末、渡辺雄二選手が優勝を飾った。6月の県選手権大会では決勝で中山選手が渡辺選手を下したが、今回は渡辺選手がリベンジを果たした。また、男子フェザー級では、韓国、啓明大学留学中の渡辺健太選手が優勝、ウェルター以上級ではベテラン潤崎史裕選手（川尻）が通算6度目の優勝を果たし、女子では本田千尋選手が重量級を制して初の頂点にたった。

◆試合結果(入賞者のみ)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般男子 フィン級 | 3位 | 熊本 純 （崇城大） | 3位 寺本晋輔 (水彩寺) |
| フライ級 | 1位 | 渡辺雄二（学園大） | 2位 中山北斗（水彩寺） |
| フェザー級 | 1位 | 渡辺健太(啓明大) | 3位 松本宇生（熊本大） |
| ウェルター超級 | 1位 | 潤崎史裕 （川尻） | 2位 満見裕之(熊本大) |
| 一般女子重量級 | 1位 | 本田千尋 （後藤） | |
| 中学男子軽量級 | 1位 | 西村 純 （阿蘇） | 3位 坂田賢誠 （電田） |
| 中学女子軽量級 | 2位 | 中西美希 （学士） | |
| 小学男子1・2年 | 2位 | 志垣 龍太（学士） | |
| 小学男子3・4年軽量級 | 3位 | 松本和也 （阿蘇） | |
| 小学男子3・4年重量級 | 1位 | 中西一将 （学士） | 2位 前山雪和 （学士） |
| 小学男子5・6年重量級 | 2位 | 坂本大輝 （雷会） | 3位 西田 亮(不知火)・坂本康大(八代) |
| 小学女子3・4年軽量級 | 1位 | 坂本百合歌(新志) | |
| 小学女子5・6年重量級 | 3位 | 西村真利栄(阿蘇) | 3位 本田千尋 （阿蘇） |

## 日本ジュニア
## 中山 北斗選手・本田 涼夏選手 準V！
## JOCジュニアオリンピックカップ

### 第1回全日本ジュニア選手権大会

■2008・7/27 ■長野県松本市総合体育館

小学生から高校生までのジュニアを対象とした全日本ジュニア選手権大会は、7月27日長野県松本市総合体育館で全国から286名が参加して盛大に開催された。県協会からは7名の選手が出場し、5名が3位以内入賞の活躍となった。年々、全国のジュニア選手のレベルも上がってきている中、健闘こそなかったが、次の大会への自信に繋がる内容だったと言える。

◆試合結果

| | | |
|---|---|---|
| 高校生男子フェザー級 | 2位 | 中山北斗 |
| 高校生女子ウェルター級 | 3位 | 本田千尋 |
| 中学生女子ウェルター級 | 3位 | 本田涼夏 |
| 中学生男子フィン級 | 3位 | 西村 純 |
| 小学4年生男子 | 3位 | 中西一将 |

## 熱戦！城南大会　最優秀選手に「坂本 大晟」選手

### 第7回城南地区大会

■2008・7/6

■鏡町勤労者体育センター

今年で7回を迎えた城南地区大会は、鏡町勤労者体育センターにて、オープン参加を含めた90名の幼児から一般までのキョッキ(板割り)、テコンドーパターン(型)、ミットなどの競技が行われ、また、小学生以下の子供たちによる模範演武なども行われ、大会を盛り上げた。小学生なからレベルの高い試合も多く、小学5年生男子の部の決勝では、不知火支部の田邉秀斗とオープン参加の竜田支部坂田賢誠選手との戦いとなり西田選手が競り勝ち勝利した。最優秀選手には昨年に引き続き大会会長の坂本大晟選手が選ばれた。

◆試合結果

| 種目/階級 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 幼児の部 | 野田里愛子（川尻） | 田川花道 （八代） | |
| 小学1年生男子重量級の部 | 坂本 凛 （八代） | 西田 亮 (不知火) | 成田蒼怜 （鏡/本目郷也 (不知火) |
| 小学2年生男子軽量級の部 | 本村直弘 （学士） | 斎藤流星 （学士） | 田中大輝 （学士）中本晃 （八代） |
| 小学2年生男子重量級の部 | 中西彩也 （学士） | 安 陽龍 （長嶺） | 上村竜斗 （学士）斎藤 翼 （学士） |
| 小学3年生男子軽量級の部 | 藤本 凛夏 （八代） | 田中大輝 （学士） | 山本 悠希 （阿蘇）山本 陽生 （八代） |
| 小学3年生男子重量級の部 | 山本 陽生 （八代） | 山口琉輝 （学士） | 安田龍馬 (不知火) 前山雪和 （八代） |
| 小学3年生男子重量級の部 | 田口凌大 (不知火) | 田原広史 (不知火) | 宮越直弥 （千士）真田星人 （長嶺） |
| 小学4年生男子軽量級の部 | 前田 七斗 （学士） | 迎野凛也 (不知火) | 永目純也 (不知火) 永目純也 (不知火) |
| 小学4年生男子重量級の部 | 中西一将 （学士） | 斎藤流星 （長嶺） | 九鬼隆輝 (不知火) 吉田泰彬 （長嶺） |
| 小学5年生男子軽量級の部 | 川越開斗 （川尻） | 河野真也 (不知火) | 迎野凛也 (不知火) |
| 小学5年生男子重量級の部 | 西田 亮 (不知火) | 坂田賢誠 （電田） | 西原隼平 （電田）坂本一郎 （長嶺） |
| 小学6年生男子の部 | 坂本大晟 （雷会） | 田邉秀斗 (不知火) | 古賀英伸 (不知火) 宮越直弥 （千士） |
| 小学1・2年生女子の部 | 柳谷知佳 （八代） | 田川春一 （八代） | 川原彩音 （八代） |
| 中学生男子の部 | 田中龍人 (大矢野) | 西川琉也 （鏡） | 野田裕太 （川尻/原 義輝 (大矢野) |
| 一般男子軽量級の部 | 原口一馬 （長嶺大） | 松田龍平 （熊本大） | 上田清隆 （鏡/真八重良大(熊本大) |
| 一般男子重量級の部 | 濱屋政之 （熊本大） | 松本宜佳 （熊本大） | 立永圭司 (八代) 野口嘉洋(熊本大) |
| 一般人フェザー級以上 | 村田 学 （八代） | 田中幸也 （八代） | 一本松真 （八代） |
| 一般人フェザー級 | 柳谷知佳 （八代） | 渡辺雄也 （鏡/松） | 有田浩通 （八代） |
| 一般人ウェルター級以上 | 濱屋大輝 （長嶺） | 古賀英伸 （長嶺） | 原一真 （千士） |
| 最優秀選手 坂本大晟 | 柳瀬真 （鏡/本目郷也） | 柳瀬真 （鏡/本目郷也） | 柳瀬真 （鏡/本目郷也） |